

「母子分離状況下にある褥婦への足湯による乳房の変化が搾乳継続に及ぼす影響」に参加された患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	母児分離し搾乳を余儀なくされた褥婦の産後 1 ヶ月の栄養法と産褥早期に行った足浴との関連の調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	産科
研究責任者	(職名) 看護師長 (氏名) 田中 教代
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	本研究は、母児分離を余儀なくされた褥婦の産後 1 ヶ月の栄養法と産褥早期に行った足浴との関連を明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	平成 28 年 12 月から平成 30 年 7 月までに経膈分娩され、児が NICU に入院となり母児分離状態になった患者さんで、「母子分離状況下にある褥婦への足湯による乳房の変化が搾乳継続に及ぼす影響」の研究に参加された患者さん
研究の方法	診療情報から産後一か月健診での授乳量・搾乳量や NICU での授乳量・搾乳哺乳量を用いて産後一か月の褥婦の母乳分泌量について比較検討する。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる情報	情報：産後一ヶ月健診での授乳量・NICU での母乳の情報等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 6B 病棟 担当者：(職名) 助産師 (氏名) 三浦 由実子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 32600)

